

神に会う備え

アモス書4章

それゆえイスラエルよ、わたしはこのようにあなたに行う。わたしはこれを行うゆえ、イスラエルよ、あなたの神に会う備えをせよ。(12)

古い聖所で行われる祭りに参加している人々にアモスは語りかけます。神との出会いを楽しみ、宗教的な熱に酔いしれている人々に、「イスラエルよ、あなたの神に会う備えをせよ」というのです。それは彼らの礼拝の形骸化を鋭く突くアモスの言葉でした。

アモスはここで、「それでも、あなたがたはわたしに帰らなかつた」という主の言葉を五回も繰り返して、悔い改めようとしないうる彼の信仰を指摘します。主はこれまで、飢饉、干ばつ、立ち枯れ、疫病などの災いを下して神のもとに立ち帰るようにと警告を与えてこられました。ところが、霊の感性がすっかり鈍っていたイスラエルの民は、それらが立ち帰りを求める主の語りかけであるとは気づかず、悔い改めの機会を逃してしまつたのです。それゆえ主は民に向かつてはつきりと告げます。「イスラエルよ、あなたの神に会う備えをせよ」。最終的な主による審判が近づいているというのです。形ばかりの礼拝で満足し、本当の意味で主との出会いを経験していない人々に、主の前に立つ心備えをするように命じます。神の恵みをないがしろにする者たちに対しては、神の厳しい審きが下ることになるからです。

再臨の主を待ち望むわたしたちは、思慮深い乙女たちが油を用意しつつ花婿を待つていたように、信仰の灯火を輝かせながら、主を待ち望む者たちでありたいと願います。